

浦添市の産業振興における課題及び施策方向性の整理

浦添市の産業・人口構造の現状と主な課題	アンケート・ヒアリングに見る産業振興の示唆	産業振興の施策方向性
1. 人口構造・社会動態の変化 <ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口が長期的に減少 年少人口の減少、高齢化の進行 社会減（特に15-64歳層の流出）が顕著 転出は県内近隣市町村へ、転入は那覇市からが中心 → 労働力確保と地域内消費の縮小リスク 2. 産業構造の課題 <ul style="list-style-type: none"> 第3次産業の割合が約 88% 卸売・小売業が売上・雇用を広く支える 医療・福祉は雇用数が多いが生産性が低め 製造業は事業所数が減少、食料品製造へ集中 → 産業の偏り／高付加価値化と生産性の課題 3. 地域経済循環の弱さ <ul style="list-style-type: none"> 所得の市外流出（市外通勤者の割合が高い） 消費・投資の市外流出が大きい（那覇の吸引力） → 市内で稼ぎ・使い・循環させる構造が弱い 4. 観光・地域資源の課題 <ul style="list-style-type: none"> 観光消費額・宿泊数は回復傾向 一方で滞在・回遊を促す資源は限定的 → “浦添ならではの”ストーリーや体験の不足 5. 農林水産業の縮小 <ul style="list-style-type: none"> 経営体数と面積は長期的に縮小 都市化の影響による生産規模の制約 → 少量多品目・ブランド化・6次化の余地 6. 企業活動・事業所動態 <ul style="list-style-type: none"> 新設事業所は増加、廃業も増加 個人事業者の比率が高く、事業承継の課題 中小企業は人材確保・賃金水準の課題 → 持続可能な企業基盤の構築が急務 	1. 市民アンケート <ul style="list-style-type: none"> 購入先は「市内」の比率が極めて高い → 市内消費ポテンシャル大 副業・起業意向は人数換算で非常に大きい 産業振興で求めるものは <ul style="list-style-type: none"> ①人材育成 ②支援・補助 ③インフラ整備 育成対象として「学生」への期待が特に高い 2. 事業者アンケート <ul style="list-style-type: none"> 経営課題は「差別化」「市場競争」「DX」「人材」 事業の方向性は「規模拡大」「業態転換」「新規事業」 市の強み：将来性・発展性、地域連携、アクセス 市の弱み：地域資源、人材確保、地価高など → 成長志向が強い一方、競争・人材・デジタルの壁が大きい 3. 従業員アンケート <ul style="list-style-type: none"> 浦添で働くメリット：交通利便性、生活利便性 市内居住意向が相対的に高い → まちの魅力や住宅施策の充実が転入促進へ寄与 4. 関係機関ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 新都市形成地域のポテンシャルが極めて大きい 商業・サービス業の「地域密着性」が強み 医療・福祉・情報通信では「浦添は人材面で有利」との声 → 立地・利便性・集積の強みを再編・進化に生かせる 	基本方針 1 市内企業の「稼ぐ力」の強化 <ul style="list-style-type: none"> 市内企業の経営基盤強化と事業継続支援 産業振興イベント・通り会等を軸とした地域経済の活性化 市産品・地域資源を活かした商品開発と販路拡大 農業・水産分野における地域経済基盤の強化 基本方針 2 未来を拓く「新たな事業」の創出 <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ・創業支援の強化 企業立地・定着の支援 基本方針 3 産業を担う「ひと」が育つ環境の構築 <ul style="list-style-type: none"> 市内産業を担う人材の確保・定着 次世代の産業人材の育成 基本方針 4 持続的な産業活動を支える「都市基盤」の整備 <ul style="list-style-type: none"> 産業用地の確保と計画的誘導 交通インフラの整備と円滑化 デジタル社会基盤の整備 基本方針 5 交流を生む「都市魅力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> 観光振興・交流人口拡大 スポーツ・文化振興による賑わい演出 西海岸開発・基地跡地利用の推進

施策の方向性について

目指すべき将来像
〈基本理念〉

ひと・もの・情報がつながり、新たな価値を創造し、誰もが豊かさを実感できる拠点都市・うらそえ

計画全体を貫く
目標設定

〈重要目標達成指
標（KGI）〉

市内総生産額（名目）

目 標：4,973億9,300万（R17）
基準値：4,135億5,800万円（R4）

市民就業者数

目 標：45,969人（R17）
基準値：44,947人（R2）

法人市民税課税額 （法人税割額）

目 標：15億5,120万円（R17）
基準値：11億2,062万円（R6）

個人市民税納税義務者 一人当たりの総所得金額等

目 標：3,824千円（R17）
基準値：2,845千円（R7）

広域連携の視点を持ち、本市や国、県の関連計画と協調し、経済界の動向も踏まえつつ、AI等の新たな技術革新にも柔軟に対応し、沖縄全体の発展に貢献する。

基本方針

分野を代表する目標設定（重要業績評価指標（KPI））

KPI
中間成果
目標R17年度

KPI
短期指標
目標R17年度

『稼ぐ力』の強化

①市内企業の『稼ぐ力』の強化（持続的な成長基盤の構築と競争力の向上）

市内事業所の売上（収入）金額

目 標：17,278億円(R17)
基準値：14,027億円(R3)

■市の発注案件における市内調達率
目 標：50.0%(R17)
基準値：46.8%(R6)

■市内企業の成長を促す伴走型コンサルティング支援における支援先企業の付加価値額増加率
目 標：20%以上(R17)
基準値：-(R7開始)

■産業イベント開催回数
目 標：1回/年(R17)
基準値：-(R7)

■通り会におけるイベント回数
目 標：6回(R17)
基準値：4回（R6）

■うらそえ特産品等振興事業 特産品開発件数
目 標：5件(R17)
基準値：4件(R6)

■牧港漁港陸揚量
目 標：450.0トン(R17)
基準値：331.3トン(R6)

『新たな事業』の創出

②未来を拓く『新たな事業』の創出（スタートアップ・企業誘致による産業の活性化）

創業者数 （浦添市創業支援事業計画）

目 標：1,567事業者(R17)
基準値：841事業者(R6)

■浦添市創業支援事業計画に伴う創業者数
目 標：1,567事業者(R17)
基準値：841事業者(R6)

■4つの特区による税制優遇措置を受けている事業者数
目 標：66事業者(R17)
基準値：33事業者(R6)

『ひと』が育つ環境

③産業を担う『ひと』が育つ環境の構築（市内就業の促進と次世代を担う人材の育成）

市民就業者数

目 標：45,969人(R17)
基準値：44,947人(R2)

■市内企業の沖縄県ワーク・ライフ・バランス認証企業数
目 標：39企業(R17)
基準値：19企業（R7）

■市内企業の沖縄県人材育成企業認証制度認証企業数
目 標：30企業(R17)
基準値：10企業(R7)

■職場見学や職場体験、地域人材等の活用による職業講話や児童生徒のキャリア発達に寄与する取り組みを行った学校数
目 標：16校(R17)
基準値：16校(R7目標)

■浦添市若者就業支援事業補助金交付件数
目 標：5件(R17)
基準値：2件(R7)

『都市基盤』の整備

④持続的な産業活動を支える『都市基盤』の整備（産業用地確保と交通・情報インフラの最適化）

デジタル社会基盤の整備進捗 （オープンデータ公開件数（産業分野））

目 標：30項目(R17)
基準値：5項目(R7)

■産業立地ニーズ調査回数
目 標：隔年1回
基準値：-

■産業用地確保・誘導に向けた庁内検討会議の開催数
目 標：年1回
基準値：-

■広域幹線道路の整備促進（国・県への要望）
目 標：継続実施
基準値：実施中

■モノールール駅周辺交通結節機能強化
目 標：継続実施
基準値：実施中

■オープンデータ公開件数（産業分野）
目 標：30件(R17)
基準値：5件(R7)

『都市魅力』の向上

⑤交流を生む『都市魅力』の向上（観光・スポーツ・文化による賑わい創出と西海岸開発・基地跡地利用の推進）

入域観光客数

目 標：54万人(R17)
基準値：23万人(R6)※推計、県外のみ

■入域観光客数
目 標：54万人(R17)
基準値：23万人(R6)※推計、県外のみ

■宿泊者数
目 標：36.4万人(R17)
基準値：15.5万人(R6)

■観光消費額
目 標：84億円(R17)
基準値：30億円(R6)

■観光情報サイト「うらそえナビ」閲覧数
目 標：50万件(R17)
基準値：38万件(R6)

■体育施設年間利用者数
目 標：109万人(R17)
基準値：41万5,211人(R6)

■てだこホール利用者数
目 標：26.5万人(R17)
基準値：21万2,225人(R6)